

令和2年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学
(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,785	4,901	116	(注1)
うち補正予算による追加	-	38	38	
施設整備費補助金	851	838	△13	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	148	355	208	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	-	
自己収入	3,613	3,575	△38	
授業料、入学料及び検定料収入	3,292	3,292	0	
雑収入	321	283	△39	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,369	2,647	278	(注5)
目的積立金取崩	92	86	△6	(注6)
計	11,878	12,423	545	
支出				
業務費	8,580	8,249	△331	
教育研究経費	8,580	8,249	△331	(注7)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	871	858	△13	(注8)
補助金等	58	255	197	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,369	2,162	△207	(注10)
長期借入金償還金	-	-	-	
計	11,878	11,525	△353	
収入－支出	-	898	898	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金の交付及び授業料等免除予算の追加配分により、予算額に比して決算額が116百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金収入については、不用額の返還により、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、受入額の増により、予算額に比して決算額が208百万円多額となっています。また、本収入には、授業料等減免費交付金が100百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 雑収入については、主として予算段階では予定していなかった建物貸付収入および寄宿舎料収入の減収等により、予算額に比して決算額が39百万円少額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、前期から338百万円を繰越したため、予算額に比して決算額が278百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた見込額を執行しなかったため、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、コロナ禍による海外渡航費用の減少、オンデマンド式授業の実施による光熱水費の支出額の減少等により、予算額に比して決算額が331百万円少額となっています。
- (注8) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。
- (注9) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が197百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、予算段階で予定していた見込額を執行しなかったため、予算額に比して決算額が207百万円少額となっています。